

平成24年度
教育に関する事務の管理及び執行の
点検及び評価報告書

平成25年8月28日

長岡市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について

1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年度から教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすために、平成24年度の長岡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、長岡市教育委員会事務評価委員会の意見等を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関連条文抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価は、長岡市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「長岡市教育振興基本計画」（平成23年4月策定）に掲げた施策を中心に行いました。

(2) 点検及び評価の手順

平成25年4月から8月にかけて、平成24年度に長岡市教育委員会において執行した事務について、次の手順で点検及び評価を行いました。

教育委員会事務局における点検の実施



事務評価委員会による教育委員及び事務局職員へのヒアリング



事務評価委員会による点検及び評価



教育委員会による評価報告書の決定



市議会への報告及び公表

長岡市教育委員会事務評価委員会 委員

委員長 中曾根 勝彦 (社会教育関係)

副委員長 高野 礼子 (子育て支援関係)

委員 結城 和廣 (学校教育関係)

委員 江口 由美 (学校教育関係)

【目 次】

I 教育委員会会議の開催及び審議状況等について

1	教育委員会4月定例会（平成24年4月27日開催）	1
2	教育委員会5月定例会（平成24年5月30日開催）	1
3	教育委員会6月定例会（平成24年6月28日開催）	2
4	教育委員会7月定例会（平成24年7月19日開催）	3
5	教育委員会8月定例会（平成24年8月30日開催）	3
6	教育委員会9月定例会（平成24年9月21日開催）	4
7	教育委員会10月定例会（平成24年10月30日開催）	4
8	教育委員会11月定例会（平成24年11月15日開催）	5
9	教育委員会12月定例会（平成24年12月3日開催）	5
10	教育委員会12月臨時会（平成24年12月27日開催）	5
11	教育委員会1月定例会（平成25年1月23日開催）	6
12	教育委員会2月定例会（平成25年2月19日開催）	6
13	教育委員会3月臨時会（平成25年3月4日開催）	7
14	教育委員会3月定例会（平成25年3月25日開催）	7
15	施設訪問	8
16	教育委員協議会	8
○	教育委員会会議等に関する点検・評価及び今後の取り組み等	10

II 教育委員会における事務の点検・評価について

1	生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現	11
(1)	子育てを応援する環境の整備	11
○	市民協働による子育て支援の推進（子ども家庭課）	11
○	保育園施設等の整備（保育課）	12
○	児童館・児童クラブ等の整備・運営（子ども家庭課）	12
(2)	子育て支援サービスの拡充	13
○	家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備①（子ども家庭課）	13
○	家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備②（保育課）	13
○	保育サービスの充実（保育課）	14
○	子育てを支援するサービスの拡充①（子ども家庭課）	15
○	子育てを支援するサービスの拡充②（保育課）	15
(3)	健康づくりへの支援の強化・推進	16
○	母子保健の推進（子ども家庭課）	16
2	人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現	17
(1)	やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進	17
	（熱中！感動！夢づくり教育の推進）	

○	どの子にもわかる授業の実現①（学校教育課）	17
○	どの子にもわかる授業の実現②（学務課）	18
○	地域の力、市民の力を生かした教育の推進①（学校教育課）	18
○	地域の力、市民の力を生かした教育の推進②（子ども家庭課）	19
○	熱中・感動体験の充実（学校教育課）	19
○	幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援①（保育課）	20
○	幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援②（学務課）	21
(2)	子どものサポート体制の充実	21
○	生徒指導の充実（学校教育課）	22
○	特別支援教育の充実（学校教育課）	23
(3)	青少年の健全育成活動の推進	24
○	交流・体験学習環境の充実（子ども家庭課）	24
○	非行防止活動の充実（子ども家庭課）	24
(4)	安全・安心な教育環境の整備	25
○	子どもの安全確保を図る体制の充実（学務課・学校教育課）	25
○	防災・防犯等の安全教育の充実（学校教育課）	26
○	学校施設における安全性の確保（教育施設課）	27
(5)	市民主体の生涯学習の推進	27
○	多様な学習機会の充実①（中央公民館）	27
○	多様な学習機会の充実②（中央図書館）	28
○	多様な学習機会の充実③（科学博物館）	28
○	生涯学習支援体制の整備①（中央公民館）	29
○	生涯学習支援体制の整備②（中央図書館）	29
○	生涯学習支援体制の整備③（科学博物館）	29
(6)	歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進	30
○	歴史的・文化的遺産の継承と保存・管理（科学博物館）	30
○	歴史的・文化的遺産の活用（科学博物館）	31

●	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について	32
---	----------------------------	----

I 教育委員会会議の開催及び審議状況等について

平成24年度に教育委員会定例会を12回、臨時会を2回開催した。その内、8回は教育委員会事務局以外の施設で開催し、49件の議案を審議し、協議報告事項は84件であった。また、施設訪問を10回実施し、29か所で授業（保育）参観・懇談・給食試食及び施設内視察を行った。さらに、教育委員協議会を7回開催した。

審議の結果は、以下のとおりである。

1 教育委員会4月定例会

- 日 時 平成24年4月27日（金曜日）
午後4時から午後5時10分まで
- 場 所 長岡市教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（2件）

議案第35号	長岡市北越戊辰戦争伝承館（仮称）検討委員会設置要綱の廃止について	原案決定
議案第36号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

- 協議報告事項（11件）
 - ・平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
 - ・長岡市教育委員会表彰について
 - ・学校・保育園の給食用食材の放射性物質検査について
 - ・長岡市公立学校通学区域審議会の会議報告について
 - ・冊子「郷土長岡を語る『ながおか学』」の配布について
 - ・防災教育用パンフレットの配布について
 - ・長岡市予防接種事故災害補償規程の一部改正について
 - ・平成24年度長岡市成人式について
 - ・長岡市青少年問題協議会委員について
 - ・ながおか子育てネット『であい！ふれあい！つながる輪』の発行について
 - ・平成24年度長岡市スポーツ振興事業計画について

2 教育委員会5月定例会

- 日 時 平成24年5月30日（水曜日）
午後3時15分から午後4時30分まで
- 場 所 シティホールプラザアオーレ長岡 市民交流ホールD
- 傍聴人 なし
- 議 事（4件）

議案第37号	条例改正の申出について （長岡市立学校使用条例の一部改正）	原案決定
--------	----------------------------------	------

議案第 38 号	条例改正の申出について (長岡市子育ての駅条例の一部改正)	原案決定
議案第 39 号	専決処理について (補正予算の要求について)	原案承認
議案第 40 号	補正予算の要求について	原案決定

- 協議報告事項 (5 件)
 - ・平成 24 年 4 月暴風被害の概要について
 - ・平成 24 年度 学校・子どもかがやき塾 夢企画事業について
 - ・平成 24 年度 長岡市成人式について
 - ・平成 24 年度 子どもの虐待防止啓発事業 「乳幼児の保護者向け幼稚園・保育園出前講座」の実施について
 - ・平成 23 年度 第 2 回長岡市スポーツ振興審議会会議報告について

3 教育委員会 6 月定例会

- 日 時 平成 24 年 6 月 28 日 (木曜日)
午後 3 時 45 分から午後 5 時 05 分まで
- 場 所 日越小学校 視聴覚室
- 傍聴人 2 人
- 議 事 (7 件)

議案第 41 号	専決処理について (長岡市児童手当法施行細則の制定について)	原案承認
議案第 42 号	専決処理について (長岡市教育委員会組織規則の一部改正について)	原案承認
議案第 43 号	専決処理について (長岡市教育委員会事務決裁規程の一部改正について)	原案承認
議案第 44 号	長岡市子育ての駅条例施行規則の一部改正について	原案決定
議案第 45 号	長岡市要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正について	原案決定
議案第 46 号	長岡市地域子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について	原案決定
議案第 47 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

- 協議報告事項 (6 件)
 - ・6 月議会における教育委員会関係の質問事項について
 - ・教育委員会関係工事等の入札状況について
上川西小学校給食室増改築・校舎耐震補強工事
才津小学校校舎大規模改造工事
東北中学校校舎大規模改造工事
上川西小学校給食室設備整備
 - ・平成 24 年度地域・子ども元気塾助成団体について
 - ・長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会の会議報告について
 - ・長岡市小中学校 P T A 連合会会長副会長研修会開催報告について
 - ・学校・子どもかがやき塾 夢企画事業 (採用されなかった学校) について

4 教育委員会 7 月定例会

- 日 時 平成 24 年 7 月 19 日（木曜日）
午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで
- 場 所 まちなかキャンパス 501 会議室
- 傍聴人 4 人
- 議 事（1 件）

議案第 48 号	平成 25 年度使用教科用図書の採択について	原案決定
----------	------------------------	------

- 協議報告事項（7 件）
 - ・平成 23 年度麻しん予防接種の実施結果について
 - ・ラジオ体操開催事業について
 - ・附属機関会議報告について
 - 長岡市栃尾美術館協議会
 - 長岡市水族博物館協議会
 - 長岡市スポーツ推進審議会
 - ・「ダウン症の書家 金澤翔子 祈りの揮毫」について
 - ・栃尾美術館「プチフェアブル 熊田千佳慕の世界展」について

5 教育委員会 8 月定例会

- 日 時 平成 24 年 8 月 30 日（木曜日）
午後 3 時 30 分から午後 4 時 45 分まで
- 場 所 中央公民館 401 教室
- 傍聴人 なし
- 議 事（5 件）

議案第 49 号	平成 23 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について	原案決定
議案第 50 号	条例改正の申出について (長岡市立学校使用条例の一部改正)	原案決定
議案第 51 号	条例改正の申出について (長岡市保育園条例の一部改正)	原案決定
議案第 52 号	補正予算の要求について	原案決定
議案第 53 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	被表彰候補者全員 適と決定

- 協議報告事項（7 件）
 - ・平成 24 年度 第 1 回長岡市熱中！感動！夢づくり教育推進会議報告について
 - ・平成 24 年度 第 1 回長岡市青少年問題協議会会議報告及び平成 24 年度長岡市青少年健全育成総合対策実施計画について
 - ・附属機関会議報告について
 - 第 2 回 長岡市社会教育委員会、公民館運営審議会
 - 第 1 回 長岡市図書館協議会

第1回 長岡市文化財保護審議会

- ・平成24年度 長岡市成人式（8月実施分）について
- ・不活化ポリオワクチンの接種について

6 教育委員会 9月定例会

- 日 時 平成24年9月21日（金曜日）
午後2時45分から午後3時45分まで
- 場 所 東北中学校 会議室
- 傍聴人 1人
- 議 事（2件）

議案第54号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	被表彰候補者全員 適と決定
議案第55号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

- 協議報告事項（7件）
 - ・9月議会における教育委員会関係の質問事項について
 - ・平成24年度 就学時等家庭教育講座の実施について
 - ・栃尾青少年育成員会創立30周年記念事業について
 - ・第13回ながおかポニーカーニバルについて
 - ・土田義則写真展「秋彩色（あきいろいろ）」について
 - ・特別展「重要文化財 焼町土器と火炎土器」について
 - ・第2回長岡藩主牧野家の至宝展「藩主のサインを集めて」について

7 教育委員会 10月定例会

- 日 時 平成24年10月30日（火曜日）
午後2時10分から午後2時55分まで
- 場 所 神田小学校 図書室
- 傍聴人 1人
- 議 事 なし
- 協議報告事項（10件）
 - ・学校給食における米飯給食の拡大について
 - ・JHSながおか夢フェスタの開催について
 - ・平成24年度 ポニー事業実施状況の報告について
 - ・病児保育事業の実施及び長岡市病後児保育事業実施要綱の一部改正について
 - ・長岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
 - ・「ダウン症の書家 金澤翔子書作展」の開催結果について
 - ・大英博物館での火焰型土器の展示について
 - ・平成24年度 県下生物・岩石標本展示会、自然科学写真展示会の開催について

- ・長岡藩牧野忠恭公の肖像写真の展示について
- ・児童虐待防止推進月間について

8 教育委員会 11 月定例会

- 日 時 平成 24 年 11 月 15 日（木曜日）
午後 1 時 45 分から午後 2 時 15 分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（2 件）

議案第 56 号	補正予算の要求について	原案決定
議案第 57 号	指定管理者指定の申出について	原案決定

- 協議報告事項（3 件）
 - ・第 11 回 いきいき教育推進懇談会について
 - ・白山保育園の移転開設について
 - ・優良公民館表彰の受賞について

9 教育委員会 12 月定例会

- 日 時 平成 24 年 12 月 3 日（月曜日）
午前 9 時 15 分から午前 10 時 50 分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（1 件）

議案第 58 号	平成 25 年度当初予算の要求について	原案決定
----------	---------------------	------

- 協議報告事項（3 件）
 - ・平成 24 年度 中学生夢さがし発見塾について
 - ・第 23 回 長岡市馬高・三十稻場遺跡保存整備専門委員会 会議報告について
 - ・企画展「縄文土器の変遷」及び「ぬくもり枳尾展」について

10 教育委員会 12 月臨時会

- 日 時 平成 24 年 12 月 27 日（木曜日）
午前 11 時 15 分から正午まで
- 場 所 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟 4 階 第 1 会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事 なし
- 協議報告事項（3 件）
 - ・インフルエンザ様疾患及び感染性胃腸炎の発生状況について
 - ・与板小学校におけるガラス破損事件について
 - ・生徒及び教職員に関する事故について

11 教育委員会 1 月定例会

- 日 時 平成 25 年 1 月 23 日（水曜日）
午後 2 時 15 分から午後 3 時 35 分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（2 件）

議案第 1 号	臨時代理について（表彰に関することについて）	原案承認
議案第 2 号	平成 25 年度全国学力・学習状況調査への参加について	原案決定

- 協議報告事項（7 件）
 - ・ 12 月議会における教育委員会関係の質問事項について
 - ・ 通学路の合同一斉点検の結果について
 - ・ 平成 24 年度 熱中！感動！夢づくり教育事業「ながおか未来塾」について
 - ・ 長岡市子ども読書活動推進計画について
 - ・ 附属機関会議報告について
第 3 回長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会
第 2 回長岡市栃尾美術館協議会
 - ・ 学校給食優良学校表彰の受賞について

12 教育委員会 2 月定例会

- 日 時 平成 25 年 2 月 19 日（火曜日）
午後 2 時 15 分から午後 3 時 40 分まで
- 場 所 宮内小学校 会議室
- 傍聴人 2 人
- 議 事（6 件）

議案第 3 号	平成 25 年度 学校教育の努力点について	原案決定
議案第 4 号	条例改正の申出について （長岡市公民館条例の一部改正）	原案決定
議案第 5 号	条例改正の申出について （長岡市立学校体育施設開放条例の一部改正）	原案決定
議案第 6 号	長岡市放課後児童健全育成事業実施要綱の一部改正について	原案決定
議案第 7 号	長岡市柿が丘学園運営規程の一部改正について	原案決定
議案第 8 号	補正予算の要求について（3 月補正予算）	原案決定

- 協議報告事項（8 件）
 - ・ 学校給食における食物アレルギー対応について
 - ・ 平成 25 年度長岡市教育委員会当初予算の概要について
 - ・ 平成 24 年度 第 2 回「熱中！感動！夢づくり教育推進会議」実施報告について
 - ・ 平成 25 年度「熱中！感動！夢づくり教育」の概要について
 - ・ 平成 24 年度長岡市の子どもたちの体力について
 - ・ 平成 24 年度文部科学大臣優秀教員表彰について

- ・ 附属機関会議報告について
 - 第 4 回長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会
 - 第 2 回長岡市青少年問題協議会

13 教育委員会 3 月臨時会

- 日 時 平成 25 年 3 月 4 日（月曜日）
午後 1 時 30 分から午後 1 時 50 分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 なし
- 議 事（1 件）

議案第 9 号	校長、教頭の人事異動の内申について	原案決定
---------	-------------------	------

- 協議報告事項 なし

14 教育委員会 3 月定例会

- 日 時 平成 25 年 3 月 25 日（月曜日）
午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
- 場 所 教育委員会会議室
- 傍聴人 1 人
- 議 事（16 件）

議案第 10 号	専決処理について（職員人事について）	原案承認
議案第 11 号	平成 25 年度 社会教育の基本方針について	原案決定
議案第 12 号	長岡市文化財の指定について	原案決定
議案第 13 号	長岡市子育ての駅条例施行規則の一部改正について	原案決定
議案第 14 号	長岡市教育委員会組織規則の一部改正について	原案決定
議案第 15 号	長岡市教育委員会における公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例施行規則の一部改正について	原案決定
議案第 16 号	長岡市立学校管理運営に関する規則の一部改正について	原案決定
議案第 17 号	長岡市保育園条例施行規則の一部改正について	原案決定
議案第 18 号	長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱の一部改正について	原案決定
議案第 19 号	長岡市こんにちは赤ちゃん訪問事業実施要綱の一部改正について	原案決定
議案第 20 号	長岡市直江兼統展示整備検討委員会設置要綱の廃止について	原案決定
議案第 21 号	長岡市馬高・三十稲場遺跡保存整備専門委員会設置要綱等の廃止について	原案決定
議案第 22 号	長岡市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	原案決定
議案第 23 号	長岡市こども発達相談室運営規程の一部改正について	原案決定
議案第 24 号	長岡市柿が丘学園運営規程の一部改正について	原案決定
議案第 25 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

- 協議報告事項（7 件）

- ・ 3月議会における教育委員会関係の質問事項について
- ・ 長岡市子ども読書活動推進計画（案）に対するパブリックコメントについて
- ・ 長岡市で制定している要綱の一部改正について
長岡市保育所施設整備事業補助金交付要綱等の一部改正について
- ・ 附属機関会議報告について
長岡市公立学校通学区域審議会
第2回長岡市図書館協議会
第2回長岡市文化財保護審議会
第2回長岡市水族博物館協議会

15 施設訪問

○ 29 か所を訪問

【内訳】 小学校 11、中学校 6、総合支援学校 1、保育園 6、
その他施設 5

- (1) 平成 24 年 5 月 30 日（水曜日）
新組小学校、浦瀬小学校、北越戊辰戦争伝承館、アオーレ長岡
- (2) 平成 24 年 6 月 28 日（木曜日）
総合支援学校、青葉台小学校、日越小学校
- (3) 平成 24 年 7 月 19 日（木曜日）
南中学校、大島中学校
- (4) 平成 24 年 8 月 30 日（木曜日）
石坂小学校、六日市小学校、子ども家庭センター、科学博物館
- (5) 平成 24 年 9 月 21 日（金曜日）
子育ての駅とちお、東北中学校、山本中学校
- (6) 平成 24 年 9 月 26 日（水曜日）
十日町小学校
- (7) 平成 24 年 10 月 30 日（火曜日）
関原保育園、恵和保育園、神田小学校、下川西小学校
- (8) 平成 24 年 11 月 15 日（木曜日）
富曾亀保育園、川崎保育園、いなば保育園、宮内中央保育園
- (9) 平成 24 年 12 月 3 日（月曜日）
青葉台中学校、関原中学校
- (10) 平成 25 年 2 月 19 日（火曜日）
富曾亀小学校、宮内小学校

16 教育委員協議会

○ 7回開催

- (1) 平成 24 年 7 月 19 日（木曜日） まちなかキャンパス 501 会議室

- ・児童生徒の通学における安全確保について
- (2) 平成 24 年 8 月 10 日（金曜日） 教育委員会会議室
 - ・いじめに関する再捜査要請の報道について
- (3) 平成 24 年 8 月 30 日（木曜日） 中央公民館 401 会議室
 - ・公立保育園の運営方法等について
- (4) 平成 24 年 9 月 21 日（金曜日） 東北中学校 会議室
 - ・公立保育園の運営方法等について
- (5) 平成 24 年 10 月 30 日（火曜日） 神田小学校 図書室
 - ・平成 23 年度 児童生徒の問題行動等について
 - ・ポニー感動体験事業の拡充について
- (6) 平成 24 年 11 月 15 日（木曜日） 教育委員会会議室
 - ・寺泊水族博物館の現状と今後の方向性について
 - ・公立保育園の運営方法等について
- (7) 平成 25 年 1 月 23 日（水曜日） 教育委員会会議室
 - ・生徒及び教職員に関する事故について
 - ・学校に配置されている支援的職員について

＜教育委員会会議等に関する点検・評価及び今後の取り組み等＞

- 長岡市教育委員会会議規則に基づき、会議を適正に開催した。
- 議案及び協議報告事項に対し、各委員から積極的な発言があり、十分な審議がなされた。
- 教育委員の意見を教育行政により反映させるため、今年度より教育委員協議会を開催した。協議会では、テーマ別に各委員が自由に意見交換を行い、日常の業務に生かすことができている。
- 各委員が成人式などの教育委員会行事へ出席したり、各種研修会へ積極的に参加した。
- より開かれた教育委員会を目指すため、教育委員会定例会を各地域の施設や学校などの市民に身近な場所で開催することに努めた。平成 24 年度はシティホールプラザアオーレ長岡、日越小学校、まちなかキャンパス、中央公民館、東北中学校、神田小学校、宮内小学校の 7 か所で定例会を開催した。
- 学校開催のときは学校職員等の傍聴があり、学校現場へ教育委員の意見が直接浸透している。
- 会議録はホームページで公開しており、協議報告事項や学校訪問の感想なども詳しく掲載し、審議の透明性を高めている。
- 施設訪問では、現場の状況を把握することに努めた。訪問後、教育委員から意見等が示され、各課の施策に生かされている。

II 教育委員会における事務の点検・評価について

平成 23 年 4 月に策定した「長岡市教育振興基本計画」に定めた施策を中心に点検・評価を行った。

具体的には、各施策の柱ごとの「基本施策」について、平成 24 年度における目標値に対する進捗状況を点検するとともに、個別の施策について点検・評価を実施したものである。

点検・評価の結果は、以下のとおりである。

1 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現

(1) 子育てを応援する環境の整備

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 23 年度 達成 値	平成 24 年度 達成 値
子育てを応援する世代を越えた交流や子育て支援の輪を広げる。 【子育ての駅の利用登録世帯数（親子、サポーターなど）】	10,292 世帯 (平成 21 年度)	20,000 世帯 (平成 27 年度)	15,828 世帯	17,492 世帯
児童クラブを必要とする保護者が利用できる環境を整える。 【児童クラブ数】	40 か所 (平成 22 年度)	43 か所 (平成 27 年度)	40 か所	41 か所

■ 施策の内容

【市民協働による子育て支援の推進（担当：子ども家庭課）】

<24 年度の取り組み>

- 子育ての駅の運営にあたっては、利用者による「子育ての駅運営委員会」を設置するとともに、様々な年代の市民から「子育ての駅サポーター」として協力を得るなど、市民参加型の施設運営を基本とした。
- 子育て世代の支援として、市民主体の編集委員会を組織し、役立つ遊び場情報をまとめた『ながおか子育てネット（おやこ遊び場ガイド）』を編集・発行した。
- NPO 法人と協働して、中学 3 年生を対象に「次代の親育成事業」を実施し、乳幼児や親子とのふれあいを通じて、命の大切さと子育てや家族関係について学ぶ機会を設けた。

<成果及び今後の取り組み等>

- 平成 24 年度の「子育ての駅」来場者数は、263,134 人であった。（ちびっこ広場 38,818 人、てくてく 154,529 人、ぐんぐん 63,879 人、すくすく 5,908 人）今後とも市民参加型で施設を運営する。

- 親子サークル支援を継続し、身近な地域でのネットワークづくりを応援する。
- 今後も継続して、中学3年生を対象に「次代の親育成事業」を実施する。

【保育園施設等の整備（担当：保育課）】

＜24年度の取り組み＞

- 白山保育園の移転改築工事の完了
- 私立保育園の改築・増築等に対して財政的支援を行った。
 - ① 長生保育園の整備増築
 - ② 長峰保育園の施設整備
 - ③ 宮内中央保育園の施設整備
 - ④ 太陽ゆうゆう保育園の施設整備
 - ⑤ 芳香稚草園の整備改修
 - ⑥ こどもけやき苑の整備増築
 - ⑦ おひさま保育園の整備増築
 - ⑧ なごみ保育園の整備改修

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 老朽・狭あい施設の改修や保育需要に見合う施設等の整備を行い、保育環境を整えることができた。
- 今後も適切な整備を行い、安心安全な保育環境の提供に努める。

【児童館・児童クラブ等の整備・運営（担当：子ども家庭課）】

＜24年度の取り組み＞

- 児童に健全な遊びを与えながら、その健康を増進するとともに、豊かな情操の形成を目指し、児童館を地域における青少年健全育成の拠点とするよう運営した。
- 児童クラブの適正な定員管理及び大規模児童クラブの解消に向けて、児童クラブの分割及び環境改善に向けた取り組みを行った。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 大規模児童クラブ解消のため、黒条第二児童クラブを開設した。（平成24年4月1日）
- 栖吉コミュニティセンターの改築に伴い、現在の児童館・児童クラブの機能を継続するにあたり、児童の環境を最優先に考慮し、新しいコミュニティセンターが供用開始になるまでの間、栖吉小学校内に移設した。
- 子どもの安全や健全育成の観点から、児童館・児童クラブの施設等の整備を推進する。

(2) 子育て支援サービスの拡充

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 23 年度 達成 値	平成 24 年度 達成 値
気軽に子育ての不安や悩みを相談できる環境を充実させる。 【親子が集う場所に相談員が出向いて実施した相談回数】	166 回 (平成 21 年度)	200 回 (平成 27 年度)	179 回	189 回
保育サービスに対する満足度を高める。	75.0% (平成 20 年度)	85.0% (平成 26 年度)	次回調査は平成 25 年度に実施予定	次回調査は平成 25 年度に実施予定

■ 施策の内容

【家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備①（担当：子ども家庭課）】

<24 年度の取り組み>

- 児童虐待の防止等を目的に地域と協働した子ども家庭支援事業を実施し、地域で気軽に子育ての不安や悩みを相談できる環境づくりを推進した。
- ① 家庭児童相談員等が子育ての駅や地域子育て支援センターで、家庭児童相談室等の PR、グループミーティング、個別相談を行った。(107 回)
- ② 家庭児童相談員等が各地区児童館等や乳幼児健診の会場に出向き、地域の見守り体制周知や育児等に関する相談に応じた。(42 回)
- ③ 保育園・幼稚園に出向き、児童虐待防止の啓発活動を行うとともに、子どもとの関わり方についての研修会を行った。(20 回)
- ④ 子ども家庭センター等で、子育てで生じるストレスとの上手なつきあい方について、子育て中の母親を対象に講座を実施した。(20 回)
- 長岡市要保護児童対策地域協議会の関係機関が連携して、支援が必要な子ども等に対し、適切な活動を実施した。
 - ・虐待に関する相談 199 件
 - ・虐待以外に関する相談 65 件

<成果及び今後の取り組み等>

- 相談員が子育ての駅や地域子育て支援センター等への訪問を行うことで、気軽に子育ての不安や悩みを相談できる機会を提供することができた。
- 家庭の抱える様々な問題の多様化・複雑化に適切に対応していくため、各地域の関係団体との連携協働によるネットワークづくりを推進しながら、今後も子ども家庭支援事業を充実させていく。

【家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備②（担当：保育課）】

<24 年度の取り組み>

○配慮を要する児童に早期に気づき、就学前から就学後まで継続した計画のもとに継続した保護者・園支援を実施した。

① 園から提出された「相談依頼票」に基づき、園を訪問し支援するとともに、必要に応じ保護者面談や専門機関との連携を図った。

② 就学支援の充実を図った。

- ・「すこやかファイル」作成の支援と小学校への引き継ぎ支援
- ・「就学支援シート」作成の支援
- ・「個別の指導計画」作成の支援
- ・専門相談員（就学指導委員会が委嘱する小中学校の教員）とすこやか応援チームとの連携を図り就学支援を行った。

③ 保護者の子育てに関する相談を実施した。

④ 発達障害に関する理解と支援のために、保育士・幼稚園教諭・保健師・関係職員を対象に研修会を計画、実施した。

<成果及び今後の取り組み等>

○こどもすこやか応援チームが関わったケース

- ・支援を行った施設数 73 施設
- ・支援を行った児童数 204 人
- ・すこやかファイル作成数 58 人
- ・就学支援シート作成数 13 人
- ・個別の指導計画 43 人

○成果として、就学に関する支援が定着し、小学校と園との連携が強化された。

○小学校の教員からなる専門相談員による就学支援が開始され、小学校との役割分担や連携を図ることができ、より丁寧な就学支援となった。今後は連携を強化し充実させていく。

○すこやかファイルの趣旨（引き継ぎ資料のみでなく、途切れのない継続した支援）が小学校にも浸透し、ファイル引き継ぎがスムーズになり、保護者が今後の学校生活に期待が持てた。今後も「すこやかファイル」の活用を関係機関と進めていきたい。

○平成23年度より、心理士が常勤（嘱託）して2年が経過し、専門的な視点での支援が安定・定着してきた。

【保育サービスの充実（担当：保育課）】

<24年度の取り組み>

○保護者の子育てと就労との両立を支援するために、各種特別保育を実施した。

- ① 休日保育 4 か所 864 人
- ② 病児・病後児保育事業 5 か所 1,189 人
- ③ 障害児保育事業 81 か所

○給食時などにおける食物アレルギー対応として、公私立保育園・幼稚園の

全園児を対象とした食物アレルギーの状況を調査するとともに、保護者と連携し、医師の指示に基づき、可能な範囲で除去・代替食を実施した。

- 保育士、調理師、行政関係職員を対象にした研修会に参加し、食物アレルギーの概要と対応について正しい知識の普及に努めた。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 各種特別保育事業を実施することで、より安心して子育てができる環境を整備することができた。
- 子育ての主体は家庭であり、親と子が共に育つことを支援するという視点を大切にしながら、今後も保育需要に対する適切なサービスの提供に努める。
- 平成 25 年度は公私立保育園・幼稚園の全職員を対象に、アレルギーの基礎知識とエピペンの使い方の実技を学ぶ研修会を、教育委員会主催で延べ 13 回開催する。さらに、公立保育園・幼稚園では園内研修を行い、全職員の受講を義務付け、食物アレルギーへの適切な対応策を普及する。

【子育てを支援するサービスの拡充①（担当：子ども家庭課）】

＜24 年度の取り組み＞

- 仕事と育児を両立するため、児童館・児童クラブ及びファミリー・サポート・センターを運営した。

児童館 40 か所・年間利用者 延べ 135,360 人

児童クラブ 41 か所・年間利用者 延べ 294,969 人

ファミリー・サポート・センターのサポート活動件数 7,834 件

- 育児疲れの解消や保護者の急病・短時間勤務への対応等、多様化する保育ニーズに対応するため、2 か所の子育ての駅で一時保育事業を実施した。

まちなか保育園（子育ての駅ちびっこ広場） 年間利用者数 1,817 人

せんしゅう保育園（子育ての駅てくてく） 年間利用者数 1,941 人

- 発達が気になる子どもやその家族を支援するため、児童福祉法に基づく通所支援の利用に関する相談やコーディネートを実施した。

児童発達支援事業所 3 か所・161 人

放課後等デイサービス事業所 2 か所・27 人

※人数は通所受給者証交付数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

＜成果及び今後の取り組み等＞

- ファミリー・サポート・センター登録会員の拡大を図るため、事業の PR 及び会員養成講習会を実施する。（平成 24 年度登録会員数 1,220 人）
- 多様化する保育ニーズに対応するため、今後も一時保育事業を継続して実施する。
- 今後も児童発達支援事業所や学校など関係機関と連携し、家族に寄り添った支援を行っていく。

【子育てを支援するサービスの拡充②（担当：保育課）】

<24年度の取り組み>

○保護者の就労形態の多様化や病気の際の保育需要に対応するため、一時保育事業を継続して実施した。

33か所 4,559人 ※まちなか保育園、せんしゅう保育園を除く。

○子育て中の保護者に保育園を開放し、育児相談や子育てに関する情報提供等を行う子育て支援センター事業を継続して実施した。

32か所 85,885人 ※保育園併設型のみ。

<成果及び今後の取り組み等>

○一時保育事業や子育て支援センター事業の充実を図ったことで、より安心して子育てができる環境を整備することができた。

○子育てに悩んでいる親や、交流する機会を望んでいる親が集える場となるように、さらにPRを行っていく。

(3) 健康づくりへの支援の強化・推進

【母子保健の推進（担当：子ども家庭課）】

<24年度の取り組み>

○健康相談や家庭訪問等の母子保健活動を実施した。

こんにちは赤ちゃん訪問事業 2,108件（実施率96.6%）

赤ちゃん相談会 2,156人（参加率97.3%）

パパママサークル事業 21回実施 661人参加（父親の参加311人）

子育て健康相談（電話相談）2,322件（来庁相談）577件

母子保健推進員活動

妊婦、赤ちゃん訪問活動 4,262件

子育て支援活動 410回 親子4,255組、妊婦44人、その他199人

<成果及び今後の取り組み等>

○妊婦、乳幼児の健診や相談会の受診率は高く、母子の健康の確保及び相談ができる機会となっている。核家族や仕事を持ちながら子育てする等、環境の変化や価値観の多様化に対応したきめ細かな対応とともに関係機関と連携した支援が必要になってきている。

○地域の身近な母子保健推進員等と協力して、子育て情報交換会や学習会、地域での見守りや声かけなどを実施できたことで、子育ての不安が解消され虐待予防につながっていると思われる。早い時期から身近で声をかけ、子育てのストレスに対処できる支援が重要になってきている。

2 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現

(1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進

(熱中！感動！夢づくり教育の推進)

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 23 年度 達成 値	平成 24 年度 達成 値
芸術家と子どもたちが気軽に交流しながら、生の芸術にふれる機会を提供する。 【ふれ愛芸術体験事業の開催校数】	15 校 (平成 22 年度)	20 校 (平成 27 年度)	19 校	21 校
地域に開かれた学校にする取り組みを、各学校で実施する。 【保護者や地域住民が、授業又は学校行事に参加する年間の平均日数】	14 日 (平成 22 年度)	20 日 (平成 27 年度)	25 日	24 日

■施策の内容

【どの子にもわかる授業の実現①（担当：学校教育課）】

<24 年度の取り組み>

○学習指導、生徒指導等の教育活動の充実を図るため、教育活動の補助を必要とする学校に教育補助員 44 人を配置した。

重点校 中学校 1 校（2 人）

小学校 26 校（26 人） 中学校 16 校（16 人）

○外国語を通して、国際社会に通用する表現力やコミュニケーション力を身に付けさせるため、英語指導助手（ALT）と英語指導員（JTL）を全小中学校に派遣した。

小学校 低学年 4 時間 中学年 4～8 時間 高学年 12 時間

中学校 全学年 2 週間に 1 回程度

○長岡の教育が目指す「米百俵の精神」をもとにした人づくりや、教員の資質・指導力の向上を図るために、研修講座、要請研修、教育研究論文の募集、教員サポート錬成塾、ミドルリーダー養成研修を実施した。

<成果及び今後の取り組み等>

○学習指導や生徒指導等において特に支援が必要な学校に対して、教育補助員を配置したことにより、個に応じたきめ細やかな対応や教師が児童生徒に向き合う時間がより確保され、学習支援の充実や子ども間のトラブル等の未然防止に効果が見られた。

- AL TとJ T Lが小学校を訪問することで、児童が文化の異なる人と積極的に関わろうとし、外国語活動の授業を活発に展開できた。また、小学校で培われたコミュニケーションの意欲を中学校で生かせるように指導用冊子を増刷、配付し、英語教員等の分かる授業実現への意欲、資質の向上を図った。
- 教育センターでは、研修講座を153講座実施し、延べ3,580人が受講した。各学校の課題解決のため要請による研修を130回実施した。教職員の資質・指導力の向上、分かる授業の実現等、学校課題の解決に関わることができた。
- 教育研究論文が155編応募され、25編を選入、うち6編を優秀論文として選考した。また、入選論文を掲載した論文集を作成して配付した。各学校、教職員の今後の実践に生かせるものである。
- 教員サポート錬成塾ベーシックコース（基礎・基本）に45人、クリエイティブコース（応用・発展）に41人の申込みがあり、嘱託指導主事がマンツーマン形態で指導した。受講生が課題意識を高め、また自信を深めていた。
- ミドルリーダー養成研修を行い、第6期修了生3人を送り出した。修了生は各学校のリーダーとして活躍するとともに、研修講座の実践提案者となり、研修講座を充実させている。

【どの子にもわかる授業の実現②（担当：学務課）】

<24年度の取り組み>

- 学校規模適正化実現に向け、取り組みの基本的な考え方や実施手法について検討を行った。

<成果及び今後の取り組み等>

- 基本的な考え方にに基づき、地域からの要望を尊重しながら地域関係者への十分な説明を行い、合意を得たうえで着実な学校規模適正化を進める。

【地域の力、市民の力を生かした教育の推進①（担当：学校教育課）】

<24年度の取り組み>

- 開かれた学校づくりを推進するため、中学校区単位の地域連携フォーラムを実施した。また、第11回いきいき教育推進懇談会では「いじめ」の問題を取り上げ、シンポジウムを行った。
 - ・地域連携フォーラム（27中学校区全部でそれぞれ実施）
 - ・いきいき教育推進懇談会（12月9日 リリックホールシアター 保護者、教職員等約380人が参加） テーマ「いじめ、どう対応するか？どう防ぐか？～家庭、地域、学校の取組」
- 市民力・地域力を教育に生かすため、地域の団体、NPO等が自主的に行う子どもを対象とする活動（自然体験活動、伝統文化の継承、環境美化活動、スポーツ・レクリエーション活動等）に対し、地域・子ども元気塾事

業として助成金を交付した。助成団体は、公開審査会を経て決定した。

・自然・科学・文化・芸術分野

7団体（申請7団体） 助成総額 1,342,000円

・スポーツ・レクリエーション分野

7団体（申請15団体） 助成総額 1,316,000円

<成果及び今後の取り組み等>

○地域連携フォーラムは、各中学校区の実情に応じたテーマ・内容を設定することにより、幼・保、小・中学校の保護者・教職員及び地域の教育等関係者が参加し、連携意識を高めることができた。また、いきいき教育推進懇談会は、長岡市のいじめの現状報告をもとにシンポジウムでの意見交換を通して、いじめへの対応や予防について考え合う場とすることができた。

○地域・子ども元気塾事業では、公開審査会において申請事業の内容等を確認し、公平な審査を行うことができた。ただし、団体自体の審査が難しく、短時間で団体の本質を見抜くことが課題である。

・地域・子ども元気塾事業

14団体（申請22団体） 助成総額 2,658,000円

【地域の力、市民の力を生かした教育の推進②（担当：子ども家庭課）】

<24年度の取り組み>

○「家庭で子どもに手伝いをさせよう運動」として、役割や手伝いを継続的に実施することの有用性や必要性を広めるため、「家庭でワクワクお手伝い通信」を発行するほか体験型として「ワクワクお手伝い塾」を実施した。

○小学校就学前の子どもを持つ全ての親が集まる機会を活用し、共通に知っておいてもらいたい家庭教育等に関する基本的な事項を伝えるため、指導主事等が講師となって「就学時家庭教育講座」を実施した。

<成果及び今後の取り組み等>

○「家庭でワクワクお手伝い通信」は年3回発行し、全ての小学校、中学校、保育園、幼稚園の児童・生徒の保護者に配付した。定期的に発行することで、家庭での手伝いの有用性を継続的に周知することができた。また、「ワクワクお手伝い塾」は高校生を対象に開催し（参加者14人）、手伝いと自立との関係性について話し合うことができた。

○「就学時家庭教育講座」は希望する学校全てで実施した（全60校中56校）。教育委員会として行うことで、家庭教育について、現場からは伝えづらいことなども含めながら保護者に伝えることができた。

【熱中・感動体験の充実（担当：学校教育課）】

<24年度の取り組み>

○子どもが夢中になる、感動する、夢につながる活動を充実させるために、熱中・感動体験活動（全50事業：前年度より3事業増）を4つに体系化し

て実施した。

・個性・能力を伸ばす事業	21 事業
・感性・情操を豊かにする事業	9 事業
・地域・自然を愛する心を育む事業	14 事業
・社会の一員としての意識を高める事業	6 事業

<成果及び今後の取り組み等>

○新規事業「JHSながおか夢フェスタ」を11月23日にアオーレ長岡アリーナで開催した。8校約400人の中学生が参加し、熱中・感動体験を味わった。保護者も含め約500人の来場者から中学生の文化系部活動（合唱、和太鼓、吹奏楽等）の成果を知ってもらうことができた。

○新規事業「ながおか未来塾」を1月26日、27日に長岡グランドホテル、湯元館を会場に開催した。29名の参加があり、長岡市長、商工会議所会頭、オリンピックメダリストの「志」講話やワークショップを通して、リーダーとしての資質や能力を育んだ。

【幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援①（担当：保育課）】

<24年度の取り組み>

○私立幼稚園に在園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、各世帯の所得状況に応じて保育料及び入園料の一部を国と市で補助した。また、補助金受給者のうち満3歳児を除く園児の保護者に対し、市単独で上乗せして私立幼稚園就園費助成金を支給した。

① 私立幼稚園就園奨励費補助金（入園児に対する支給割合 80.52%）

支給対象者 1,488人 補助金総額 144,510千円

② 被災幼児就園支援事業補助金（東日本大震災により、長岡市に避難している幼児）

支給対象者 8人 補助金総額 671千円

③ 私立幼稚園就園費助成金（市単独助成分）

支給対象者 1,309人 助成金総額 5,262千円

○長岡市内の私立幼稚園に対し、幼稚園教育の振興や経営の健全化を図るため、次のとおり運営費等の補助を行った。

① 運営費等補助 17園 補助金総額 14,109千円

② 預かり保育推進事業費補助 12園 補助金総額 1,800千円

③ 障害児教育費補助 3園 補助金総額 588千円

○長岡市内の私立幼稚園に対し、幼稚園教育の振興や経営の健全化を図るため、次のとおり施設整備の補助を行った。

・長岡和光幼稚園の整備改修

<成果及び今後の取り組み等>

○財政的支援を行い、幼稚園教育の振興及び障害児教育の充実等が図られた。

○今後も私立幼稚園教育の振興を図るとともに、保護者の経済的負担軽減の

ため支援を実施していく。

【幼稚園教育・高校教育の振興と就学支援②（担当：学務課）】

<24年度の取り組み>

○小・中学校への就学に際し、保護者の経済的負担を軽減するため、所得状況に応じて学用品費等の支援を行った。

① 就学援助費

支給総額 329,849 千円

② 特別支援教育就学奨励費

支給総額 12,506 千円

○長岡市内の私立高等学校3校に対し、運営費を補助した。

補助金総額 16,668 千円

○私立高校就学者の保護者の経済的負担を軽減するため、学費の助成を行った。

助成対象人数 延べ 456 人

助成金総額 9,014 千円

<成果及び今後の取り組み等>

○今後も小・中学校就学における保護者の経済的負担軽減及び私立高等学校の健全経営のための支援を継続していく。

○私立高校就学者の保護者に対する経済的負担軽減については、国・県の制度もあることから、助成方法について引き続き検討する。

(2) 子どものサポート体制の充実

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 23 年度 達 成 値	平成 24 年度 達 成 値
問題行動、いじめ・不登校、児童虐待などについて、関係機関などの連携による予防・対応を推進する。 【不登校児童生徒発生率】	小学校 0.26% 中学校 2.19% (平成 21 年度)	0.20% 2.00% (平成 27 年度)	小学校 0.36% 中学校 2.05%	小学校 0.18% 中学校 2.29%

一人ひとりの進路実現に向けて総合支援学校高等部生徒の現場実習受入れ事業所数を増やす。 【総合支援学校高等部生徒の現場実習受入れ事業所数】	29 か所 (平成 22 年度)	40 か所 (平成 27 年度)	41 か所	54 か所
---	---------------------	---------------------	-------	-------

■施策の内容

【生徒指導の充実（担当：学校教育課）】

<24 年度の取り組み>

○問題行動やいじめ・不登校、児童虐待など、子どもをめぐる様々な問題への対応と予防を図るため、「子どもふれあいサポート事業」を実施した。

① サポートチームの活動 38 ケースに対応

- ・サポートチーム会議（複数機関との連携） 25 件
- ・サポートチーム活動（単独機関との連携） 10 件
- ・その他の対応 3 件

② 子どもサポートコール相談件数 79 件

③ 適応指導教室(長岡フレンドリールーム、栃尾やまびこルーム、寺泊はまちゃん教室、おぐに日だまりルーム)の設置及び訪問相談員(2人)の派遣

④ 心ふれあい相談員の学校への派遣 20 人を 33 校へ派遣

○いじめ、不登校、対人関係や学習・行動の問題、就学や家庭における養育の問題、心身に障害のある児童生徒の指導などについて対応を図るために、面接相談、電話相談、学校支援訪問を実施した。今後も保護者、学校、保育園等の教職員と連携して児童生徒へのよりよい対応に努める。

- ・面接相談 1,826 回
- ・電話相談 1,191 回
- ・学校支援訪問 301 件

○大阪市で体罰が原因で高校生が自殺した事件を受け、市立小中学校の全ての児童生徒、保護者、教職員を対象に、平成 25 年 2 月から 3 月にかけて、体罰調査を実施した。調査の結果、教育委員会として 3 人の教職員の行為を体罰と判断し、県教育委員会へ報告。体罰を行った教職員及び校長に対しては、平成 25 年 3 月に厳しく体罰禁止を指導した。

<成果及び今後の取り組み等>

○サポートチームの活動をフットワークよく行うため、複数関係機関との連携を図る支援（サポートチーム会議）のほかに、単独関係機関との連携により対応するケースをサポートチーム活動とし、回数を増やして対応した。

ことから、特別支援学級未設置校への設置や発達通級指導教室未設置地域の解消に向けて、計画的に進めていくよう努める。

○総合支援学校では、高等部新教育課程をスタートさせ、卒業後の進路を見据え、就労に結びつくよう新しい作業学習を導入した。外部指導者による指導を取り入れながら、就労に必要な技術や態度の育成を図っている。教育、福祉、医療、労働をつなぐ拠点として総合支援室を設置し、専門の嘱託員2名が教育活動との密接な連携を図りながら、関係機関と協力して卒業生を含めた児童生徒の生活支援・就労支援の充実に努めている。

(3) 青少年の健全育成活動の推進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 23 年度 達成 値	平成 24 年度 達成 値
青少年たちが、身近な地域の伝統芸能や歴史、文化、自然などにふれあう機会を増やす。 【子どもふるさとふれあい広場事業申請件数】	145 件 (平成 22 年度)	170 件 (平成 27 年度)	149 件	150 件
街頭育成活動に参加する育成員の参加率を高める。	77.1% (平成 21 年度)	80.0% (平成 27 年度)	82.2%	81.2%

■施策の内容

【交流・体験学習環境の充実（担当：子ども家庭課）】

<24年度の取り組み>

○地域で組織されている青少年健全育成連絡協議会などが、子どもを対象とした活動の機会を提供する事業や地域社会で子どもを育てる機運を高める事業を活発に行えるよう呼びかけ、応援した。

<成果及び今後の取り組み等>

○23年度に比べ、子どもふるさとふれあい広場事業の申請件数が1件増加した。今後も長岡市全体の活動がより活発になるよう、さらに積極的に呼びかけ、活動の推進を図る。

【非行防止活動の充実（担当：子ども家庭課）】

<24年度の取り組み>

○青少年育成員が、街頭において、喫煙や怠業、交通マナーなど青少年の不良行為等に対して声かけを行い、反省を促した。

活動実施回数 317 回、参加育成員延べ人数 1,057 人、

問題行動等声かけ人数 152 人

○子どもから大人へ移行する思春期において心身のバランスを崩しやすい青少年を対象に相談を受けた。

面接 33 件、電話 76 件、メール 146 件

<成果及び今後の取り組み等>

○街頭で目立った問題行動をとる青少年が年々減少し、声かけ件数も減少を続ける中、青少年の状況が把握しにくくなっている。そのため、目に見える不良行為にとどまらず、広く声かけを行い、内部に悩みを抱える青少年等への指導助言を行いながら、子どもたちの状況把握に努めた。

○小・中・高校生の保護者や学校長が活動を体験する機会を設け、家庭や地域、学校での青少年健全育成や社会全体で子どもたちを見守ることの重要性の再認識につなげることができた。

○相談内容は、複雑化・多様化しており、問題解決には長期的・専門的な対応が求められるケースもある。必要に応じて、関係機関と連携しながら、サポート体制の一層の充実に努める。

(4) 安全・安心な教育環境の整備

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 23 年度 達成 値	平成 24 年度 達成 値
「地域の子どもは地域で守る」ことのできる体制を維持し、取り組みを充実させる。 【小学校区単位の「セーフティーパトロール」団体への登録者数】	6,000 人 (平成 22 年度)	7,200 人 (平成 27 年度)	7,999 人	7,899 人
市立小・中・総合支援学校の校舎・屋内運動場の耐震化率を高める。	77.0% (平成 21 年度)	100.0% (平成 27 年度)	89.6%	91.9%

■施策の内容

【子どもの安全確保を図る体制の充実（担当：学務課・学校教育課）】

<24 年度の取り組み>

○登下校時の通学路及び校区における児童生徒の安全確保を図るため、セーフティーパトロール事業等を推進したほか、学校や警察から報告を受けた

不審者情報を小・中学校及び関係機関に提供した。

- ① 警察・道路管理者・教育委員会・学校（地域）合同の通学路合同一斉点検の実施 全小学校区（小学校 60 校区）
 - ② 通学路点検の実施 全中学校区（中学校 27 校区）
 - ③ 地域住民によるセーフティパトロール団体数 60 団体
 - ④ 学校教育課が小中学校、関係機関へ提供した不審者情報 19 件
- 給食時などにおける児童生徒の食物アレルギー対応として、全児童生徒を対象に食物アレルギーの状況調査を実施するとともに、医師の指示や保護者との面談内容に基づき、除去・代替食を実施した。
- 全ての学校において、食物アレルギーに関する基本的な理解や緊急時の対応について、校内研修を実施した。

<成果及び今後の取り組み等>

- 通学路の合同一斉点検により、通学路におけるハード面の安全対策が大きく進んだ。
- 市内 60 小学校区全区でセーフティパトロール団体等による子どもの安全を守る活動が実施された。
- 長岡警察署と連携を強化し、不審者事案への迅速な情報提供のシステム構築（メールによる情報提供システム）が進んだ。
- 校内研修を通して、全教職員が食物アレルギーに関する理解を深めた。
- 全ての学校で、緊急時の対応マニュアルを整備した。
- 今後も引き続き、教職員を対象とした研修を行い、食物アレルギーに関する理解を深め、緊急時において迅速かつ適切な対応がとれるようにする。

【防災・防犯等の安全教育の充実（担当：学校教育課）】

<24 年度の取り組み>

- 平成 23 年度に作成した防災教育用パンフレット「自然災害に学ぶ」及び指導資料集を活用し、全ての学校で防災教育に関わる授業を 1 時間以上実施した。
- その他の取り組み
 - ・各学校で作成した通学路安全マップの改善と活用 全小中学校
 - ・一工夫した実効性のある避難訓練の実施 全小中総合支援学校
 - ・不審者侵入等を想定した防犯訓練、防犯教室の実施 全小中総合支援学校

<成果及び今後の取り組み等>

- 小学校の避難訓練では、保護者への引渡しもしくは引渡しを想定した訓練を 25 校で実施した。
- 中学校では、昼休みなどに予告なしの避難訓練を実施したり、障害物などにより避難しづらい状況をつくり、実効性のある避難訓練を実施した。
- 今後、地域と連携した避難訓練の実施と、地域の防災訓練への積極的な参

加を促していく。

【学校施設における安全性の確保（担当：教育施設課）】

<24年度の取り組み>

○小学校5棟、中学校3棟の耐震化工事を実施した。

<成果及び今後の取り組み等>

○平成24年度は前年度より2.3ポイントの上昇となり、91.9%になった。平成27年度の耐震化率100%に向けて今後も計画的に事業を推進していく。

(5) 市民主体の生涯学習の推進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成23年度 達成値	平成24年度 達成値
生涯学習によるまちづくりを推進するため、生涯学習をする人を増やす。 【1年間に生涯学習をした人の割合】	35.9% (平成22年度)	45.0% (平成27年度)	次回調査は平成25年度に実施予定	次回調査は平成25年度に実施予定
生涯学習を通じて身に付けた知識や技能などを家庭・職場以外で役立たせる人を増やす。 【生涯学習による成果を地域などで活用した人の割合】	13.0% (平成22年度)	25.0% (平成27年度)	次回調査は平成25年度に実施予定	次回調査は平成25年度に実施予定
市民が市内の図書館を利用する機会を増やす。 【市民1人当たり年間図書館資料貸出数】	6.4点(冊) (平成21年度)	6.7点(冊) (平成27年度)	6.13点(冊)	6.09点(冊)

■施策の内容

【多様な学習機会の充実①（担当：中央公民館）】

<24年度の取り組み>

○「親も育つ子育てセミナー」を開講した。幼児及び小・中・高校生をもつ親が、さまざまな教育問題と向き合いながら、どう対応するかを学べる講座として3コース23講座を開催、213人の受講があった。また、参加しや

すい環境づくりのため、幼児保育サービスを引き続き実施した。

- 「公民館趣味の教室」を開講した。焼物や書道、俳句など14講座26コースを開講、767名の受講生が年間を通して学習した。
- 「生涯学習推進大学」(第5期)を開講した。各地域のコミュニティセンターや公民館などで、地域のリーダーとなる人材を養成した。なお、平成24年度は15回の講座を開催した。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「親も育つ子育てセミナー」参加者はリピーターが主で、新規参加者が限定的である。内容が毎年好評なため、PR方法に工夫の余地がある。
- 「公民館趣味の教室」は、平成24年度から60歳以上という年齢制限を撤廃、その結果30歳代の参加者を含め、60歳未満の数名の新規参加者を得た。今後も幅広い世代間の交流をさらに促していく。
- 「生涯学習推進大学」では、第5期生58名が修了した。受講に関して、平成24年度から地域推薦に加えて自己推薦も導入、5名が自己推薦で受講した。また、卒業後に地域のコミセン推進組織に加わる受講生があらわれた。今後、地域での自主的な活動をどれだけ具体化できるか課題である。

【多様な学習機会の充実②（担当：中央図書館）】

＜24年度の取り組み＞

- 文化講座、講演会、美術センター自主企画展など年間を通じて多彩な行事を行った。
- 子どもの読書環境の整備について関係課と検討し「長岡市子ども読書活動推進計画」を策定した。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「ダウン症の書家 金澤翔子書作展」では20日間で10,140人の入場があった。今後も各年代層に配慮し魅力ある行事を企画したい。
- 「長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係課と連携し読書普及活動を拡充して行いたい。

【多様な学習機会の充実③（担当：科学博物館）】

＜24年度の取り組み＞

- 年間を通じて、科学博物館や馬高縄文館などで、市民を対象とした普及活動を実施した。
- 北越戊辰戦争伝承館が開館し、同館を拠点に地元の発案による「新組歴史散策ウォーキングコース」を作成するなど、地域に密着した活動を行った。
- 小・中学校等に学芸員を派遣する事業を企画し、多くの小・中学校等から活用された。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 体験学習会の機会を増やし、市民が博物館を利用する機会を増やす。

- 学校や子ども会などに体験学習等の事業を紹介する。
- 特別展や講演会を開催し、市民が博物館に足を運びやすくする。

【生涯学習支援体制の整備①（担当：中央公民館）】

＜24年度の取り組み＞

- 生涯学習人材バンク「まちの先生」を引き続き開設し、歴史やスポーツ、パソコンなど幅広く生涯学習を支援できる方を登録し、ニーズに合わせた紹介を行った。（平成24年度末現在の登録数307人・団体）
- 「生涯学習ガイドブック～団体・サークル編～」への登録や紹介を引き続き行った。（平成24年度末現在の登録数840団体）
- 「市政出前講座」では、市政全般のトピックスについて、市民の知りたいことを市の担当者が出向いて説明した。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- 「まちの先生」の利用を高めるため、PR方法を工夫していく。
- 「生涯学習ガイドブック～団体・サークル編～」への人材登録や情報提供を進めていく。
- 「市政出前講座」は80講座を開設。24講座、のべ84,367人の利用があった。時局柄、原子力安全対策についての需要が特に高かった。今後も市民生活を取り巻く情勢に即した講座内容の見直しや新規開設など図っていきたい。

【生涯学習支援体制の整備②（担当：中央図書館）】

＜24年度の取り組み＞

- 予約かごシステムの導入や、視聴覚資料検索ページを作成するなどWebサービスの充実を図った。
- 外部データベース「新潟日報記事検索データベース」を1点追加した。利用時間を1回30分から1時間までに拡大し、市民の調査研究の便宜を図った。

＜成果及び今後の取り組み等＞

- Web予約件数は年間130,754件となり前年比20%の増加を記録した。今後も利用者の利便性の向上を図り、貸出冊数の増加を目指したい。
- 外部データベースの個人利用を促進するため今後も広報を充実させたい。

【生涯学習支援体制の整備③（担当：科学博物館）】

＜24年度の取り組み＞

- 馬高・三十稲場遺跡の史跡案内サイン設置工事を実施した。
- 科学博物館は、平成26年度中に幸町庁舎へ移転する予定であり、平成24年度は、展示室・収蔵庫部分の建築・電気・機械設備の実施設計及び、展示物の製作及び映像・音声資料の編集を行った。

<成果及び今後の取り組み等>

- 馬高・三十稲場遺跡の史跡案内サイン看板が設置されたことで、国道8号線からの来訪者に施設の所在をわかりやすくした。今後は、馬高遺跡に復元住居を追加整備し、その発信力を強化する。
- 科学博物館の平成26年度の早い時期の開館を目指し、展示物製作や展示工事・引越し等を行う。また、長岡市域全体に係る資料収集・調査を進め、移転時の展示などに活用する。

(6) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成23年度 達成値	平成24年度 達成値
歴史的価値が高い建造物の実態把握・保存を進め、教育や地域振興に活用できる機会を増やす。 【市内に所在する歴史的価値が高い建造物の国登録文化財登録件数】	21件 (平成21年度)	26件 (平成27年度)	23件	28件
地域に伝わる民俗芸能の適切な保存に努め、後世に伝承される機会を増やす。 【記録保存用にビデオ収録した民俗芸能の演目数】	186演目 (平成21年度)	201演目 (平成27年度)	186演目	186演目

■施策の内容

【歴史的・文化的遺産の継承と保存・管理（担当：科学博物館）】

<24年度の取り組み>

- 新たな登録有形文化財が登録され、合計28件になった。また、長岡造形大学へ委託し、歴史的建造物調査を行った。

<成果及び今後の取り組み等>

- 長岡市内の歴史的建造物悉皆調査により、各地域に所在する物権の基礎データが得られた。今後、主要な建物についての詳細調査を行い、そのデータを基に明確な基準を持って登録有形文化財に推薦していく。

【歴史的・文化的遺産の活用（担当：科学博物館）】

<24年度の取り組み>

- 「緑の百年物語」のイベントの中で、多くの市民に郷土民俗芸能を公開し、その魅力をアピールした。

<成果及び今後の取り組み等>

- 郷土民俗芸能を公開したことで、多くの市民にその魅力をアピールすることができた。
- 今後は、過去に撮りためられた民俗芸能の記録を公開しやすい形式に変換し、市民が活用できるようにする。また、合併前に撮影された民俗芸能の記録の集約を行う。

平成 25 年 8 月 12 日

長岡市教育委員会

委員長 大橋 岑生 様

長岡市教育委員会事務評価委員会

委員長 中曾根 勝彦

副委員長 高野 礼子

委員 結城 和廣

委員 江口 由美

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について

平成 24 年度に執行された長岡市教育委員会の会議、施設訪問、事務事業の内容及びその点検結果について、教育委員並びに事務局職員からヒアリングを行い、長岡市教育委員会事務評価委員会として点検、評価を行った。

当委員会の点検、評価結果については以下のとおりである。

●全体を通しての意見

長岡市教育委員会における事務の管理及び執行については、創意ある施策をきめ細かく着実に進めており、目標値以上の成果が出ている事業もある。

教育委員と事務局とのコミュニケーションもよくとれており、学校や施設に直接、足を運ぶことで現場の声を事業に反映させている。今後の発展が期待できる新規事業を積極的に展開したり、関係機関との連携も密に行っており、事業全般にわたって概ね評価できるものである。

今後とも市民のニーズを読み取り、事業のより一層の充実を図るとともに、時代の変化に合わせた事業の再検討も必要であろう。

また、施策の達成度を数字の変化で捉えるだけでなく、中・長期的な追跡調査を行ったり、市域全体で見る視点と地域性を考慮する視点を持ったりするなど、多方面から実態を把握し、達成度を考察する必要がある。

●各施策についての意見

I 教育委員会会議の開催及び審議状況等について

施設訪問を積極的に行い、様々な場所を使って定例会・臨時会を開催するなど、市民の目線や現場の様子を大事にしている評価できる。

平成24年度から始められた教育委員協議会は、大変良い取り組みである。定例会、臨時会とは別に時間を設け、教育委員が自由に意見を出し合うことで、最新の教育問題や課題についての理解が深まり、論点も明確にされる。そこでの協議が実際の事業に活かされるよう、大いに期待したい。

市民にとって、教育委員会はまだまだ遠い存在に感じられる。今後は、市民にもっと教育委員会を身近に感じてもらい、活動を理解してもらうための工夫がされるよう期待したい。

II 教育委員会における事務の点検・評価について

1 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現

(1) 子育てを応援する環境の整備

子育ての駅は市民参加型の施設運営を行っており、子育て世帯の親子のみならず誰もが気軽に訪れることができる「保育士のいる屋根付き公園」である。栃尾地域に新たに整備した子育ての駅すくすくは、地域で長年、活動しているNPOに運営を委託しており、地域の中に溶け込み成功していると感じた。子育ての駅の運営は全て同じではなく、それぞれの地域のニーズや立地条件にあった運営を行っている点を評価する。

中学3年生を対象とした次代の親育成事業は、親子とのふれあいなどを通して命の大切さを伝えることも大切にしており、生徒の今と将来を見越した事業として期待できる。

保育園等の施設整備に対して補助するなど子どもたちにとって安心・安全

な施設等の整備を積極的に支援していることを評価する。

一方、児童クラブは子育てしながら働く世代が増えると見込まれることから今後ニーズがより高まると思われるので、適正な規模の設置・運営の継続を望む。

(2) 子育て支援サービスの拡充

地域に出向き、地域と協働して積極的に子育ての不安や悩みに応じる体制を推進していることを評価する。

子どもたちの成長について就学前から就学後へと途切れなく支援するために「すこやかファイル」「就学支援シート」「個別指導計画」などをその子に適した方法で作成しており、園、保護者と連携した支援の充実とその活用について評価する。

休日保育、病児・病後児保育、障害児保育、一時保育など、多様な保育サービスの充実により、安心して働ける社会に貢献していると考ええる。

特別保育を必要とする利用者の声を反映できるように、より一層の体制作りが必要と思う。また、虐待についての相談件数が減少したが、今後の経年変化を標榜しつつ、背景にある要因を分析し、どう意味付けるかによって、その後の取り組みを検討する必要がある。

(3) 健康づくりへの支援の強化・推進

母子保健活動は、各事業の実施率や参加率の高さからも充実ぶりがうかがえる。積極的な活動が展開されており評価できる。

地域の身近な母子保健推進員等と協力して、子育て情報交換会や学習会、地域での見守りや声掛けなどを実施してきたことで、子育ての不安やストレスの解消につながり、そのことが虐待予防にもつながると分析している点について評価、賛同したい。

今後は、民生委員、町内会、子ども会など、地域の横のつながりを大切にしたネットワーク作りを一層深めていくことが重要と考える。

2 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現

(1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進

(熱中！感動！夢づくり教育の推進)

新規事業である「JHSながおか夢フェスタ」と「ながおか未来塾」は大変評判が良かった。スポーツのみならず文化面においても発表の場を設けることによって、子どもたちの意欲を高め、達成感を味わえる良い機会となる。

熱中・感動体験活動によって得られるものが大きいことを、子どもたちの活動の様子を見ていると実感することができる。

一方、熱中・感動体験活動の50事業については、10年間の取り組みを検

証し、児童生徒にとってさらに質の良い体験活動プログラムが用意されるよう、次の10年間に向け整理していく必要がある。

児童生徒数が減少していく中、学校の規模適正化は重要な課題であり、学校統廃合に関し、地域や保護者の要望を十分に尊重して進めていることは高く評価できる。

幼稚園教育や高校教育における保護者の経済的負担は、家庭の所得状況によっては大きなものであり、本市の就学支援の取り組みは充実した内容になっていると評価ができる。

(2) 子どものサポート体制の充実

総合支援学校高等部の作業学習に、その仕事のプロが指導者として入り、教師とともに指導に当たっているのは大変良い取り組みである。学校内の指導であっても常に仕事の現場を意識し、そこで求められるものを授業の中で取り入れていく必要がある。総合支援室が十分に機能し、職場実習の企業を開拓していることが数字の上からもはっきりと分かるので評価したい。

一方、総合支援学校の生徒の持ち味はそれぞれ違い、一人ひとりを活かすために職場開拓は今後も継続していく必要がある。卒業後のケアも大切であり、総合支援室の役割は今後ますます重要となる。専属のスタッフと管理職を中心に、学校全体として取り組んでほしい。

また、子どもの問題に対処するサポートチームの活動は、どこまで踏み込めるか、どこまで連携できるかが問われる。いじめや不登校の問題を抱える児童生徒及び保護者は、将来にわたって想像を超えるような不利益を被る。数値やその変化の背景にある要因や特徴を読み解き、踏み込んだ予防や対応、指導ができるような流れを作ることを望む。

(3) 青少年の健全育成活動の推進

小・中・高校生の保護者や学校長が青少年育成員の非行防止活動を体験する機会を設けたことは、学校、家庭、地域が連携して子どもを見守ることの重要性の再認識につながり、大変有意義である。

一方、青少年の非行は年を追うごとに複雑化している。情報化社会の中で翻弄されないよう、携帯電話やインターネットを介しての非行に関する研修の実施や、より良い活動を行っている青少年を称えるなど、非行の状況変化に応じた育成活動のメニューの充実を望む。

(4) 安全・安心な教育環境の整備

セーフティパトロールの登録者数が目標値を超えており、その活動が年々充実してきていることを実感している。また、冬場の通学路の安全確保の取り組みもきちんと行っている。

新潟県中越大震災後に作成した手引きを改訂し、授業に直結する指導資料を加えて、実効性のある防災教育ができるようにしたことは評価できる。

通学路の合同一斉点検は有意義な取り組みであった。道路状況は変化していくので、今後も計画的な実施が必要である。

一方、東日本大震災後に強い関心が向けられるようになった津波など、様々な災害、事件に対応した安全確保の訓練を引き続き行い、検証していくことが必要と考える。

(5) 市民主体の生涯学習の推進

たくさんの教室を運営しており、市民の趣味や学習意欲の向上に貢献している。

「長岡市子ども読書活動推進計画」では、年代別のアプローチを工夫していることを評価する。

少ないスタッフで普及活動や企画展の実現に力を入れており、地道な仕事を成し遂げている点に感銘を受けている。

公民館、図書館、博物館ともに情報発信の源である。最新の情報や見落とせない情報、学んでほしい情報などを積極的に市民に周知するよう一層の充実を望む。

(6) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進

歴史的・文化的遺産の登録有形文化財への登録数が増加しており、それを保存・管理・活用する道筋が付けられていることを評価する。

また、市民が興味や関心を持つように、文化財を広く周知している点についても評価できる。

今後も歴史的・文化的遺産の保存・管理に力を入れるとともに、馬高・三十稲場遺跡、新潟県立歴史博物館、科学博物館などを巡る企画を立ち上げるなど、その活用方法を工夫してほしい。